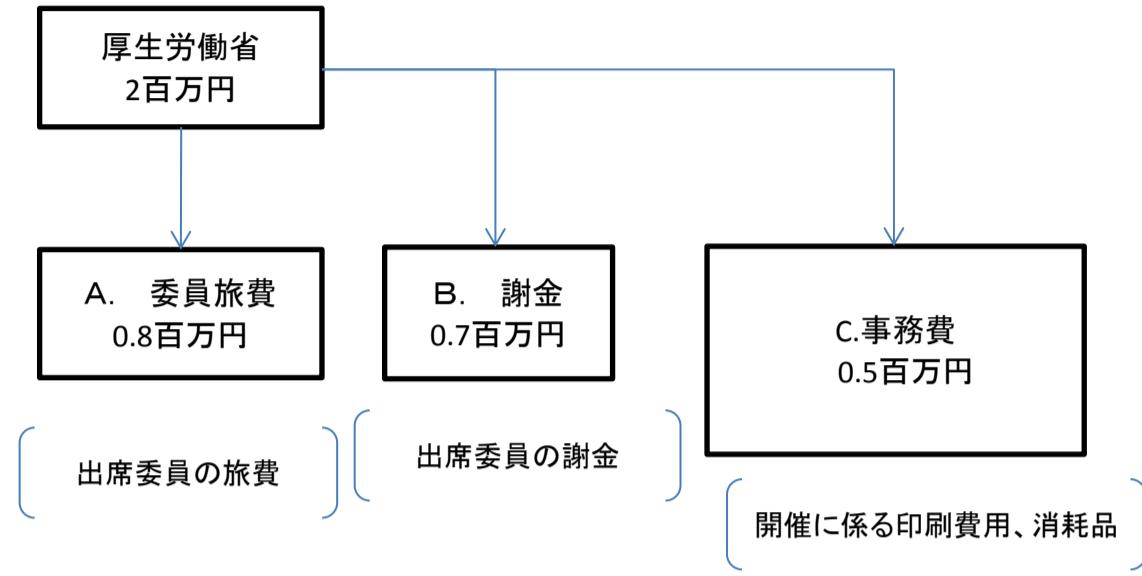


平成23年行政事業レビュー・シート (厚生労働省)

事業名	裁判外紛争解決制度活用推進協議会		担当部局	医政局		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成21年度~		担当課室	総務課 医療安全推進室		室長:宮本哲也	
会計区分	一般会計		施策名	IV-1-4 医療安全確保対策を推進する			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	-			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	裁判外紛争解決(ADR)機関の活用を推進するため、医療裁判外紛争解決にかかる情報共有・意見交換を進める。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	医療紛争の裁判外による解決に向けた取り組みとして、医療会、法曹界や患者の立場を代表する者等により協議会を設置し、情報や意見の交換を行うとともに、医療における裁判外紛争解決制度の在り方について検討を行う。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
	当初予算		4	4	3	3	
	補正予算						
	繰越し等						
	計		4	4	3	3	
	執行額		4	2			
執行率(%)		100.0%	50.0%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	医療裁判外紛争解決(ADR)機関連絡調整会議の開催		成果実績		-	1回	2回
			達成度	%	-	17	33
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	医療裁判外紛争解決(ADR)機関連絡調整会議の開催		活動実績 (当初見込み)		-	1回	2回
単位当たりコスト	87,000(円/人)		算出根拠	予算額3,828千円÷延べ委員数44人=87,000円			
平成 23・24 年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由			
	諸謝金	0.8	0.8				
	委員等旅費	0.9	0.9				
	医薬品審査等業務庁費	0.9	0.9				
	計	2.6	2.6				

事業所管部局による点検							
	評価	項目	特記事項				
目的・状況・予算の 概要	<input type="radio"/> ○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。					
	-	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。					
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。					
資金の流れ、 使途、費目・ 費目	-	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。					
	-	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。					
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。					
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。					
	<input type="radio"/> ○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。					
活動実績、 成果実績	-	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。					
	-	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。					
	<input type="radio"/> ○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。					
	-	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。					
	<input type="radio"/> ○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。					
点検結果	<p>概ね予定どおり開催されており、参加メンバーによる医療ADRの報告に伴う意見交換等により、情報の共有等十分に図ることが出来ている。</p> <p>また、公開で会議を開催することにより、医療ADRについても広く国民に周知している。</p>						
予算監視・効率化チームの所見							
現状通り	<p>本事業については平成23年度においても予算の縮減が図られており、事業の必要性、執行の観点からの評価としては、概ね妥当であるが、引き続き効率的な執行に努めること。</p>						
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)							
<p>引き続き効率的な執行に努めることとするが、事業の必要性、執行の観点からは、これ以上の経費抑制は困難である。</p>							
補記（過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）							

※平成22年度実績を記入



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位: 百万円)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」においてプロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					